

### 地域のお知らせ

#### 体振グラウンドゴルフ大会 参加者募集

開催日 平成27年3月8日(日)  
 場所 草津小学校グラウンド  
 時間 受付9時30分より  
 ゲーム開始10時&11時  
 定員 先着96名程度  
 持参物 マイスティック&ボール  
 (貸出用もあります)  
 参加費 無料  
 申込先 草津公民館ボックス又は  
 Fax(077-562-4907)まで  
 申込締切 3月3日(火)まで  
 その他 参加賞&成績上位の方及び  
 飛び賞の賞品あります  
 主催 草津学区体育振興会  
 協賛 草津学区  
 ひと・まちいきいき協議会



### 公民館自主サークルのお知らせ

**健康体操 自彊術 (じきょうじゅつ)**  
 昨年12月より自主サークルとして活動を始めました。  
 健康体操自彊術は31の動作で、全身を関連づけながら動かすことにより、体中を調整するという特徴があります。いつでも、どこでも畳1枚分のスペースがあれば十分です。気軽にできる日本生まれ、日本育ちの健康体操です。自分の体力に合わせて、楽しく体をほぐしませんか? 随時体験できます。お気軽にご参加ください。お待ちしております。  
 効果 ○肩こりや腰痛で悩んでいる方  
 ○疲れやすい方  
 ○運動不足の方  
 ○健康的に美しくやせたい方  
 ○ストレス解消したい方  
 練習日:毎週水曜日 10時~11時半  
 場所:草津市民センター 和室  
 講師:土居 良子



## 草津学区

# ひと・まちいきいき通信

東海道・中山道  
出合い街



草津宿

発行:草津学区ひと・まちいきいき協議会  
 事務局:草津市民センター(公民館)  
 TEL/FAX:077-564-4999

## まち協 この1年

ふれあい夏まつり  
2014.7.26



行灯づくり  
2014.11.7-8



ふれあい広場



2014.11.9



公民館の家「体験合校」  
2014.8.2-4



もちつき大会



2015.1.17



### 大ちゃんの ひとりごと

寒い日が続いていますね。体調を崩しやすい時期です。風邪やインフルエンザ対策として「手洗い」「うがい」をされている方も多いと思いますが、皆さんは「水分補給」が対策になることをご存知でしょうか。インフルエンザの原因となるウイルスは乾燥した状態で活発に活動します。逆に湿度が50%以上になると活動が急激に低下します。水分補給は喉や鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぎますので、冬でも夏同様にこまめな水分補給を行いましょ。

また、熱いお風呂に入った後、乾いた喉をビールで潤すという方も多いのではないのでしょうか。アルコールにはもともと利尿作用がありますが、カリウムを多く含むビールは特に要注意です。他のアルコールに比べて利尿作用が高いのです。そのため、脱水症状を起こす可能性もあり、動脈硬化などの原因にもなるといわれています。お酒は百薬の長、適量のアルコールは血流がよくなり体を温めますが、量を間違えると逆効果になってしまいます。やはり水分補給には、アルコールではなく、カフェインの少ない飲み物が適しているようです。

ちなみにこれは、自分に言い聞かせるためのひとりごとなのでした。  
 では、また次号で…。



(今号より、草津学区出身のペンネーム 大ちゃんのコラムを連載いたします)

『一年間を振り返って』 会長 田中 千秋

今年度もひと・まちいきいき協議会の活動、運営にご協力いただきありがとうございました。

今、草津学区では草津川跡地整備工事が行われ、国道1号線トンネル撤去工事も間もなく始まります。私たちの『まち』くさつの風景が大きく変わろうとしています。

『まち』は、人も犬や鳥たちも、そして風や水、草木や風景も全てが育っているところです。

みんなが熱い心や思いをもって、地域の事業や行事に参加することで、これからもみんなで『まち』を育てていきましょう

### 記憶に残るふるさとの風景を屏風絵に

## ふるさと「草津」風景の記憶絵

人々の記憶に残る草津学区の風景を、一枚の絵にして次の世代に残す『ふるさと「草津」風景の記憶絵』プロジェクトが最終の調整作業に入りました。聞き取り調査を重ねて、丁寧に再現された昭和30年代の草津学区の町には、そこで暮らす人々の日常風景がいきいきと描かれています。

秋の完成を前に、立ち上げからの2年間を振り返ります。

### 何百もの「五感の記憶」が集まった

平成25年春、草津学区ひと・まちいきいき協議会に新しく『ふるさと「草津」風景の記憶絵』制作プロジェクトが立ち上げられました。昭和30年頃の草津学区の風景を屏風絵にするこのプロジェクトは、草津学区に長く住む高齢者から心に残る記憶を聞くことから始まりました。

学区の老人クラブに協力をお願いした「五感体験アンケート」でよく目にした光景（視覚）、耳に残る音（聴覚）、思い出の香りや臭い（嗅覚）、肌によみがえる感触（触覚）、なつかしい味（味覚）の項目で答えてもらいました。

「風呂の煙突からの木屑・石炭の燃える臭い」「新しいわら草履を履くのがうれしかった。なれるまで鼻緒が痛かった。」「土壁作り。素足で粘土をこねる時の指の間のヌルヌルした不思議な感触」「鍋のかけつぎ屋が来た。フイゴの音が懐かしい」「外も家の中も静か。雨の夜はわら打ち縄縫いなどトントンコトコト」「火鉢に手をかざすと次第に温かみを感じた」。

読み手にまで感触が蘇ってくるような、「五感の記憶」ひとつひとつが壮大な屏風絵を形づくっていきます。

### 記憶のなかでは誰もが主役に

記憶絵の制作活動に参加するメンバーは15名。毎月開かれる定例会では、リーダーの河崎概三さんを中心に絵図の確認や制作スケジュールの打ち合わせが行われます。記憶絵に登場する花嫁に話がおよぶと、「嫁入り道具は大八車に紅白の幕をかけた」「私の時はもうトラックやったわ」「式の前にはまず嫁ぎ先の仏壇に手をあわせた」等々、場は一転して懐かしい昔話に花が咲きます。

聞き取り調査は記憶絵制作における大切な工程。語り部の心にある記憶のカケラを聞き手が頭の中で絵におきかえ、それを紙上に表現していきます。時には「これは違う」と指摘を受けることもあるそうですが、「記憶絵はあくまでも記憶の最大公約数。学区に住む人の様々な記憶が重なりあってできた風景。」と河崎さんは話します。

昔の記憶を語る時は誰もがいきいきとした表情を見せるという。「自分の記憶の中では誰でも主役は自分自身だから。絵をみた人から、これ俺やと声がかかることもありますよ」。

### 屏風の完成は記憶絵の誕生 記憶絵は未完のまま地域で育てていく



現在最終の調整に入った記憶絵の制作。絵図の完成後は表装されて、秋には一枚の屏風絵となって市民センターに展示されます。屏風絵の完成は同時に記憶絵の「誕生」でもあると河崎さんは考えます。「その絵を囲んで人々が語ることで記憶絵は育っていく。若い人には昔の町の姿を知って地元へ愛着を持ってほしい。」

記憶絵メンバー竹谷利子さんが制作の様子を綴っています。

「ふるさと・くさつ風景の記憶絵」ブログ

<http://blog.goo.ne.jp/kiokue-kusatsu>

## ～記憶絵ができるまで～

### ① 五感アンケート

### ② 聞き取り調査

### ③ フィールドワーク

### ④ レイアウト作成

### ⑤ 下描きの制作

### ⑥ 確認会

### ⑦ 絵図の制作



記憶絵の骨格を作るのは、地域の高齢者を対象にした五感アンケート。草津学区老人クラブの協力でたくさんの「記憶のカケラ」が集まりました。



アンケートの回答をもとに、地域の方に直接お話をうかがう聞き取り調査でエピソードに肉付けしていきます。話すほどに眠っていた記憶が呼び起こされます。



「ここにも道があったらしい」「ここは指物屋さんやった」。記憶絵の舞台となる学区内を、アンケートや証言をもとに、実際に歩いてみるフィールドワークで構成を固めていきます。



寄せられた思い出のエピソードをひとつひとつ並べて、レイアウトをつくります。文字で記されたエピソードを絵師が絵に変えていき、記憶絵の下絵ができていきます。



全体の構成が決まったらいよいよ下描きにはいります。語り部たちの記憶のカケラがいきいきと記憶絵の紙上に蘇ります。細部までしっかりと描き込むのは根気のいる作業。



当時の暮らしを知る地域の高齢者の方に、工程途中の記憶絵を確認してもらいます。「貨物列車はもっと長かった」「鯉のぼりがあった」など指摘を受けて描き直すこともしばしば。



プロジェクト立ち上げから一年半。ようやく記憶絵に色がつけられます。やさしい色彩のアクリル絵の具を使って、細やかに彩色がほどこされます。